

各 位

## 国分(株)、平成24年度の経営結果と平成25年度の経営方針

### 〔I〕平成24年度の経営環境と経営動向の回顧

#### 1. 平成24年度の経営環境と経営動向の回顧

昨年の我が国経済は、東日本大震災の復興需要もあり年半ばまで改善がみられたものの、世界経済の減速や円高の進行、デフレ基調の継続など回復が伺われない閉塞感のつる1年でした。

流通業界におきましては、少子高齢化やITの進化で流通形態も大きく変わるなか、消費支出への選別は更に厳しいものとなっています。

食品酒類業界にあっては、最終価格が低迷する川上インフレ・川下デフレ状況が続き、業態を超えての価格競争が熾烈さを増しています。生き残りを賭けた合従連衡やより一層の規模拡大が進みました。創意工夫による品質訴求、価格に頼らない消費活性化が求められています。

このような経営環境下にあって当社は、創業300周年の節目を迎えました。「既存事業の更なる強化」と「新たな分野へのチャレンジ」を目指した第9次長期経営計画「QUALITY300」2年目の諸計画と300周年記念事業の推進を実践してまいりました。

さて、当社の連結業績であります。売上高は1兆5,023億円、前年比102.1%となりました。売上高の内訳は、食品が7,675億81百万円、前年比103.5%、酒類が6,517億51百万円、前年比100.9%、その他が829億92百万円、前年比99.0%となりました。

経常利益につきましては、106億38百万円、前年比83.0%、当期純利益は59億9百万円、前年比104.2%となりました。

#### 2. グループ総合力の強化

- ・農産水産カテゴリーの更なる強化を目指し生鮮統括部を設置 (1月)
- ・首都圏における低温事業の統合、併せて東京明販(株) [東京都台東区] の市販フローゼン事業を譲受け、国分フードクリエイト東京(株) [東京都中央区] が営業を開始 (1月)
- ・関東支社並びに神奈川国分(株) [神奈川県相模原市] の静岡エリア事業を中部支社へ集約 (3月)
- ・三重国分(株) [三重県伊勢市] とカワヤス国分(株) [岐阜県羽島郡] を統合し、社名を東海国分(株) [三重県伊勢市] に変更 (4月)
- ・(株)ベストフーズ [東京都世田谷区] を株式取得により子会社化 (4月)
- ・(株)ベストフーズ大田 [東京都大田区] を設立、大田市場における買参権を取得 (8月)
- ・東京国分(株) [東京都江戸川区] の低温事業を国分フードクリエイト東京(株) [東京都中央区] に統合 (10月)
- ・デリー物産(株) [北海道札幌市] の低温卸売事業をシュレン国分(株) [北海道札幌市] に統合 (10月)
- ・全国の有力青果物卸売会社で組織する八社会のメンバー各社と業務提携を締結 (10月)

### 3. 物流関連

- ・埼玉県三郷市に大型三温度帯汎用センターとして三郷流通センターを開設 (5月)
- ・青果物の集配・加工並びに関連ギフトのセットアップ、ラッピングを行う大田市場前センター〔東京都大田区〕を開設 (9月)
- ・神奈川県藤沢市に大型三温度帯汎用センターとして藤沢流通センターを開設 (9月)

### 4. 情報関連

- ・グループ会計システムを刷新、KMS会計システムをリリース (6月)
- ・「お客様相談機能」強化策の一環として顧客の情報管理と商品の情報管理システム (CRM) の導入 (10月)
- ・営業支援ツール「KOMPASS」に外食・中食用フードサービス事業専用画面を設置 (11月)

### 5. 海外関連

- ・双日(株)〔東京都千代田区〕と共同でベトナム大手食品卸売企業Huong Thuy Manufacture Service Trading Corporation〔ベトナム社会主義共和国ホーチミン市〕に出資、同社を持分法適用会社化 (3月)
- ・山東省青島市に中国総代表事務所を設立 (5月)
- ・カレー専門店2号店「Tokyo Curry Dining & Beer」をソウル市に開店 (7月)
- ・アリババ(株)〔東京都中央区〕と中国市場における日本ブランドの食品流通基盤の構築を図ることを目的に業務提携。中国最大のECモール「天猫(ティエンマ)Tmall」に『国分九加十(ぐおふえんじゅうじゃしい)』をオープン。 (9月・12月)

### 6. 300周年事業他

- ・記念ワインKWV“スペシャル・セレクション”を限定発売 (2月)
- ・新ブランド「tabete」3シリーズを新発売 (2月)
- ・シングル・モルト・ウイスキー「TOMATIN」をラッピング装飾したロンドンバスによる全国キャラバン実施 (5月～7月)
- ・記念本 弘兼憲史著書による「おうちワインの教科書」を出版 (5月)
- ・記念社史「日本橋で三百年」を発刊 (5月)
- ・「国分創業300周年 感謝の集い」を帝国ホテル東京にて開催 (5月)
- ・東京スカイツリータウン®内の「東京ソラマチ®」イーストヤード5階に国分オフィシャルショップ『間屋国分』を出店 (5月)
- ・総合記念展示会「～共に三〇〇、創る四〇〇～」をテーマに東京国際フォーラムにて開催 (5月)
- ・NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン〔東京都台東区〕と食料品の寄贈に関する同意書を締結 (8月)
- ・中部支社、新社屋を竣工、移転 (11月)

## 〔Ⅱ〕平成25年度の経営方針

本年度の日本経済は、政府主導による緊急経済対策や金融緩和政策の動きなどにより、景気浮揚効果が期待されるというものの、環境問題やエネルギーコストの増大、中小企業金融円滑法の終了などもあり経済環境の改善には時間を要するものとみられます。また、流通業界にあっても構造的な需給ギャップ・著しい競争激化のトレンドのなか、消費増税を控えた節約志向の進行、低価格商品の拡大などが予測されます。

このような環境下にあって当社グループは、国内外のビジネスパートナー、関係先と一層の連携・連動を取りながら、サプライチェーン・コンソリデート機能を発揮し流通全体の最適化を志向していきます。社是の「信用」をベースに、丁寧で地道な国分クオリティの提供、磐石な経営基盤を目指して、「QUALITY300」に掲げた課題に取り組んでまいります。

〔Ⅲ〕 連結業績

【 連結損益計算書の要旨 】

(自平成24年1月1日 至平成24年12月31日) (単位:百万円)

科 目	金 額	売上比	前年比
売 上 高	1,502,325	-	102.1%
(食 品)	767,581	(51.1%)	103.5%
(酒 類)	651,751	(43.4%)	100.9%
(そ の 他)	82,992	(5.5%)	99.0%
売上総利益	117,020	7.79%	99.3%
販売費及び一般管理費	108,178	7.20%	101.8%
営業利益	8,842	0.59%	76.0%
経常利益	10,638	0.71%	83.0%
当期純利益	5,909	0.39%	104.2%

【 連結貸借対照表の要旨 】

(平成24年12月31日 現在) (単位:百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流動資産</b>	455,504	<b>流動負債</b>	436,493
現金及び預金	34,329	支払手形及び買掛金	396,567
受取手形及び売掛金	248,425	短期借入金	14,823
譲渡性預金	39,500	繰延税金負債	3
有価証券	16,010	その他	25,098
たな卸資産	43,581		
繰延税金資産	1,060	<b>固定負債</b>	17,490
未収収益	51,625	長期借入金	15
その他	21,557	繰延税金負債	5,191
貸倒引当金	△ 586	退職給付引当金	3,911
		その他	8,371
<b>固定資産</b>	98,564	<b>負債合計</b>	453,983
有形固定資産	55,751	<b>純 資 産 の 部</b>	
無形固定資産	3,831	<b>株主資本</b>	91,963
投資その他の資産	38,981	資本金	3,500
投資有価証券	32,967	資本剰余金	5
繰延税金資産	852	利益剰余金	88,457
その他	5,782		
貸倒引当金	△ 621	<b>評価・換算差額等</b>	5,305
		<b>少数株主持分</b>	2,816
<b>資産合計</b>	554,068	<b>純 資 産 合 計</b>	100,085
		<b>負債及び純資産合計</b>	554,068

【 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 】

(自平成24年1月1日 至平成24年12月31日) (単位:百万円)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 の期末残高
平成24年12月期	10,160	△ 15,027	△ 1,000	73,803

【 販売の状況 】

(1) 部門別売上高明細表

(自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日)

(単位:百万円)

部 門	売上高	構成比	前年比
加工食品	571,126	38.0%	102.3%
冷凍・チルド	156,672	10.4%	111.5%
菓子	39,782	2.6%	92.8%
食品合計	767,581	51.1%	103.5%
酒 類	285,695	19.0%	99.9%
麦 酒	220,307	14.7%	100.8%
ビアテイスト(麦酒除く)	145,749	9.7%	103.0%
酒類合計	651,751	43.4%	100.9%
その他合計	82,992	5.5%	99.0%
合 計	1,502,325	100.0%	102.1%

(2) 酒類の種級別売上高明細表

(自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日)

(単位:百万円)

種 級	売上高	構成比	前年比
清 酒	59,795	9.2%	98.1%
焼 酎	88,953	13.6%	99.4%
ワイン類	32,848	5.0%	107.5%
ウイスキー類	28,101	4.3%	104.6%
リキュール・スピリッツ他	75,996	11.7%	97.3%
酒 類	285,695	43.8%	99.9%
麦 酒	220,307	33.8%	100.8%
ビアテイスト(麦酒除く)	145,749	22.4%	103.0%
合 計	651,751	100.0%	100.9%

【 連結範囲及び持分法の適用に関する事項 】

連結子会社 48社

持分法適用会社 7社

〔IV〕 単体業績

【 単体損益計算書の要旨 】

(自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日)

(単位:百万円)

科 目	金 額	売上比	前年比
売 上 高	1,404,557	-	104.1%
( 食 品 )	736,913	(52.5%)	104.3%
( 酒 類 )	600,057	(42.7%)	103.7%
( そ の 他 )	67,585	(4.8%)	105.2%
営 業 利 益	5,850	0.42%	77.0%
経 常 利 益	7,056	0.50%	82.9%
当 期 純 利 益	3,169	0.23%	100.6%

【 単体貸借対照表の要旨 】

(平成24年12月31日 現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流動資産</b>	462,461	<b>流動負債</b>	459,402
現金及び預金	30,799	買掛金	387,785
受取手形及び売掛金	304,789	短期借入金	14,122
譲渡性預金	39,500	その他	57,495
有価証券	16,010		
商品	18,050	<b>固定負債</b>	10,437
未収収益	30,099	繰延税金負債	5,057
繰延税金資産	527	退職給付引当金	380
その他	22,934	その他	4,999
貸倒引当金	△ 250		
		<b>負債合計</b>	469,840
<b>固定資産</b>	86,810	<b>純 資 産 の 部</b>	
有形固定資産	38,997	<b>株主資本</b>	74,953
無形固定資産	3,221	資本金	3,500
投資その他の資産	44,592	資本剰余金	5
投資有価証券	29,853	利益剰余金	71,447
関係会社株式	11,500		
その他	3,378	<b>評価・換算差額等</b>	4,478
貸倒引当金	△ 141	<b>純 資 産 合 計</b>	79,431
<b>資 産 合 計</b>	549,271	<b>負債 及び 純資産合計</b>	549,271